

TOTO

USシステムA型感知フラッシュバルブ施工説明書 (埋込、AC100Vタイプ)

TEA99X, TEA99LX(在来工法壁用)

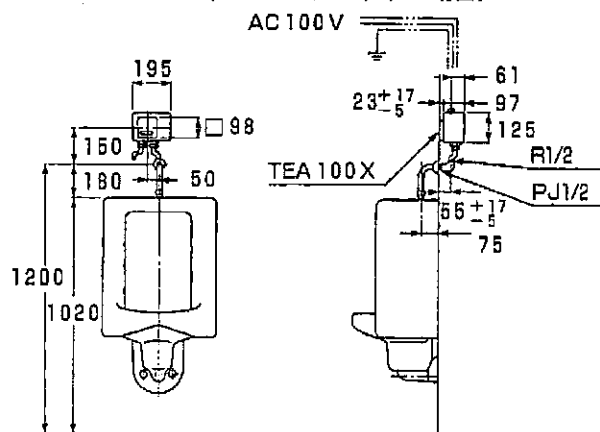
TEA100X, TEA100LX(100×100タイル壁用), TEA150X(150×150タイル壁用)

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

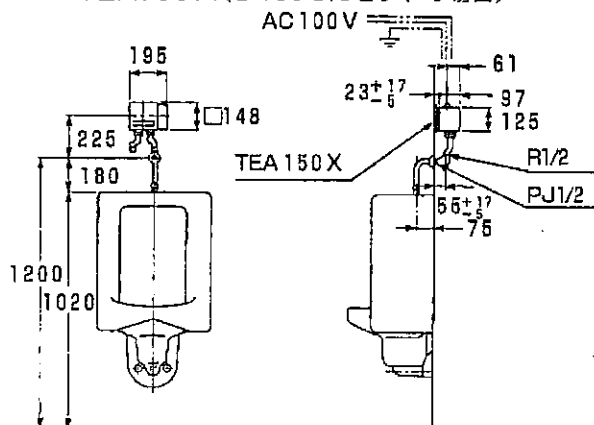
■標準取付図

(注) 陶器の品番により取付寸法が異なります。
詳細は工事用図面を参考の上、取付けてください。

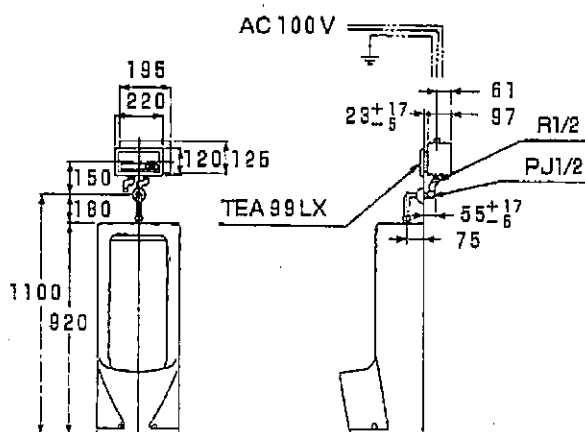
TEA100X (U406Cにセットの場合)



TEA150X (U406Cにセットの場合)



TEA99LX (U307Cにセットの場合)



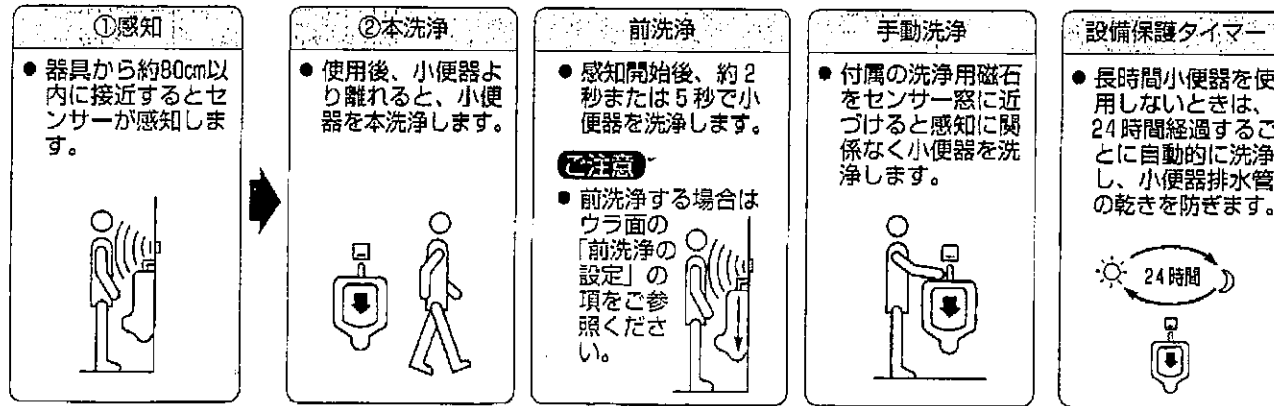
■仕様

品番	TEA99X	TEA99LX	TEA100X	TEA100LX	TEA150X
製品寸法	120×120×5 (高) (幅) (奥行)	220×120×5 (高) (幅) (奥行)	95×98 (高) (幅)	58×198 (高) (幅)	148×148 (高) (幅)
電源	AC 100V 50/60Hz				
消費電力	常時 5W以下 作動時 9.8W以下				
感知距離	器具前面より 80cm以内				
前洗浄	切替えスイッチ付 (出荷時切)				
手動洗浄	洗浄用磁石での作動				
感知時間	本洗浄 5秒以上、前洗浄 2秒、5秒以上 (切替)				
使用温度範囲	0～40℃ (水温は 1～50℃)				
給水圧力	最低必要水圧 0.07MPa、最高水圧 0.7MPa				
吐水量	使用状況に応じて 2.5～5L/回 (自動調整)				
給水部接続	15Aガスネジ				

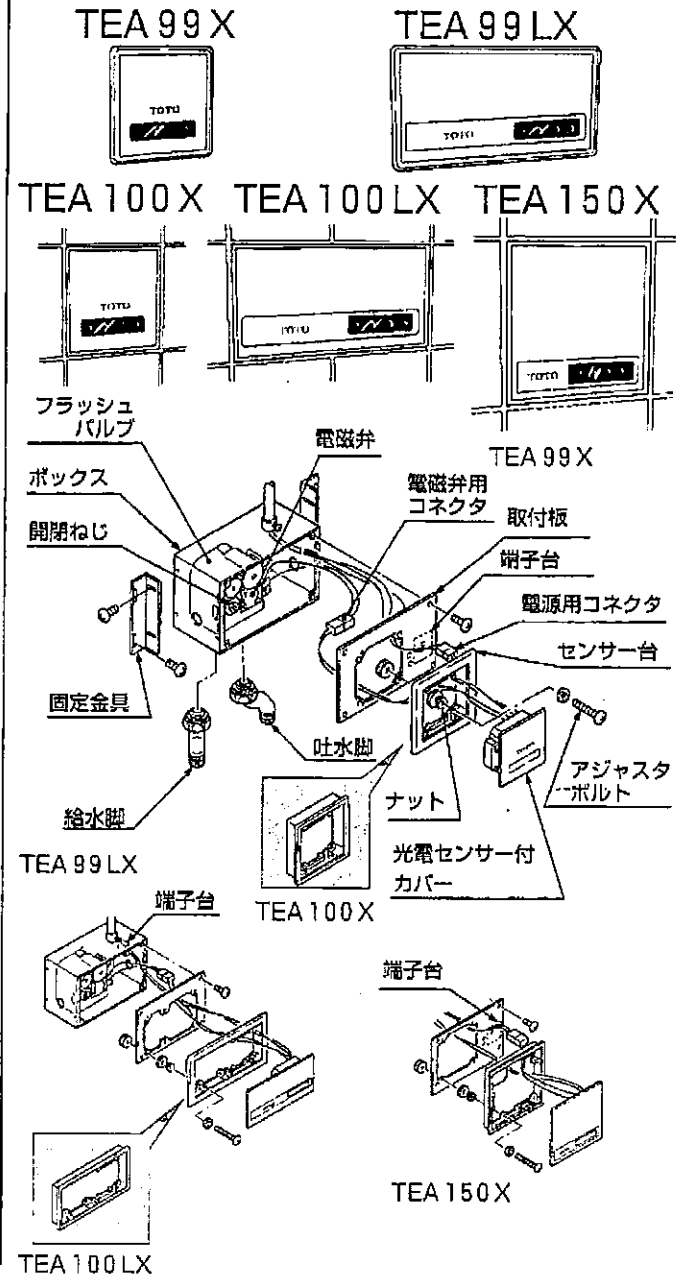
■梱包明細

品名	TEA99X	TEA99LX	TEA100X	TEA100LX	TEA150X
光電センサー付カバー	○	○	○	○	○
フラッシュ/ゆぶろ (電線付)	○	○	○	○	○
養生カバー付取付板	○	○	○	○	○
脚 (給水用、排水用)	○ 2個	○ 2個	○ 2個	○ 2個	○ 2個
電線管コネクタ	○	○	○	○	○
アジャスタボルト	○ 4本	○ 4本	○ 4本	○ 4本	○ 4本
固定金具	○ 2個	○ 2個	○ 2個	○ 2個	○ 2個
取付ねじ	○ 4本	○ 4本	○ 4本	○ 4本	○ 4本
洗浄用磁石	○	○	○	○	○
吸盤	○	○	○	○	○

■作動のしくみ

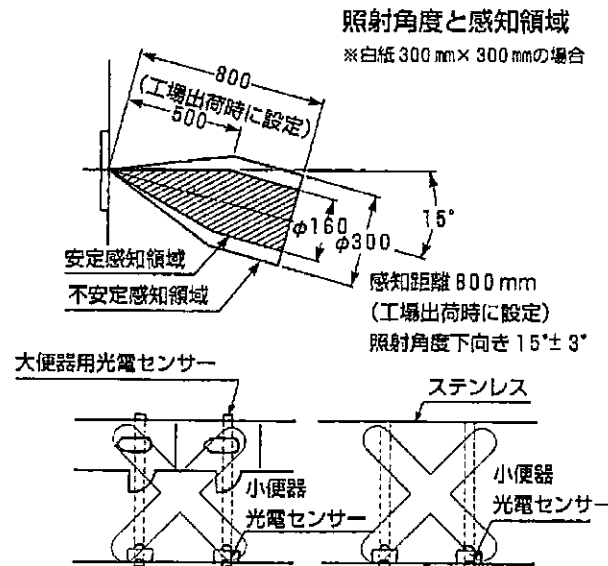


■各部の名称



■取付け前に

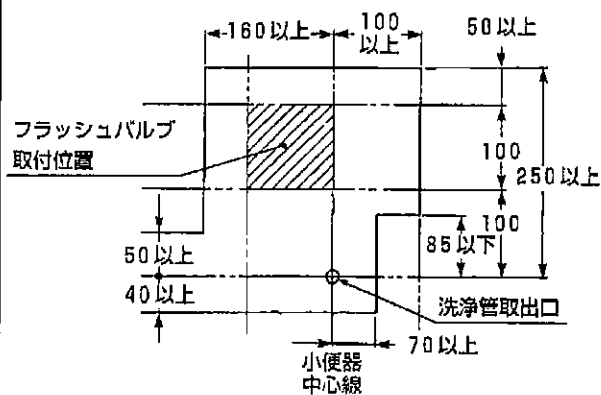
- 水道工事と電気工事は十分工程を打合わせの上行ってください。
- 万一の際の危険防止のため、必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置してください。
- アース端子付きですので、必ずD種接地工事を行ってください。
- 電源線、アース線は現場でご用意ください。
使用電線：600Vビニール絶縁電線又はケーブル(φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは1.25～2.0mm²のより線)
- 右図感知領域内(安定感知領域内および不安定感知領域内)に手すり等の障害物が入らないように取付けてください。
- 光電センサー正面の壁がステンレス等反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士(大便器自動洗浄システム用光電センサーを含む)が対向するような設置は誤動作を生じますのでさけてください。
- インバータ機器により誤作動することがあります。
- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合があります。
- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.07MPa、最高水圧0.7MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は上水道又は飲用可能な井水に接続してください。中水道および異物を多く含む水には使用できません。
- 電気器具ですから、水をかけないように注意してください。



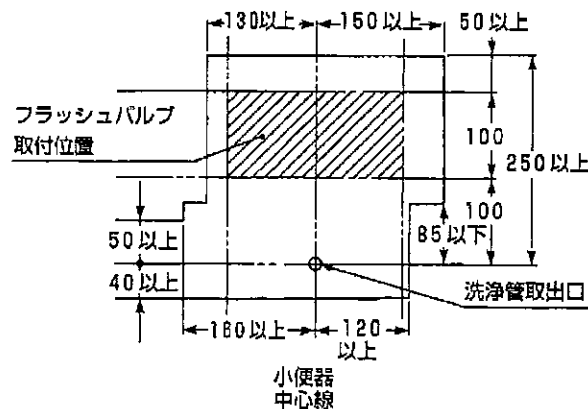
施工の手順

① 取付位置の墨出しと下地壁のはつり

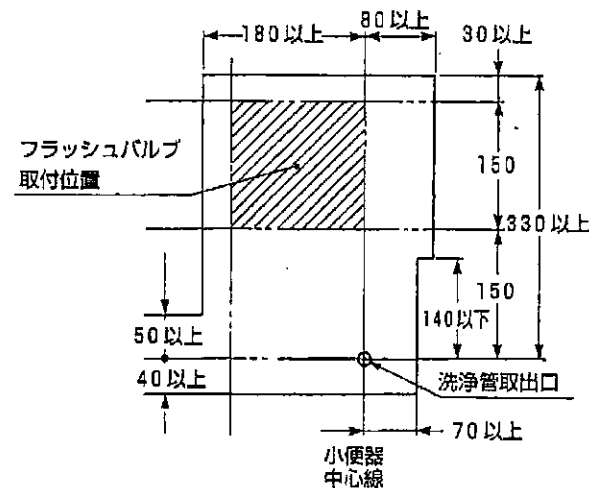
下地壁に取付位置を示す中心線を墨出し図の寸法に下地壁をはつります。(深さ105以上)



TEA 99X, TEA 100X



TEA 99LX, TEA 100LX



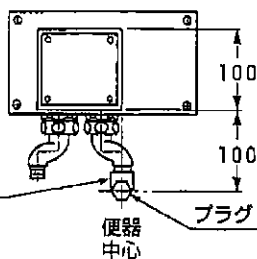
TEA 150X

② 給水・吐水脚の取付け

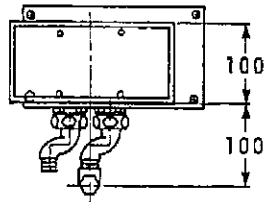
フラッシュバルブに給水・吐水脚を仮固定します。また、吐水脚にエルボ 15 A をねじ込みます。このとき、脚の向きは給水側は任意の位置に、吐水側は洗浄管取出口に合わせてください。

(エルボ・継足ソケット・プラグは現場手配をしてください)

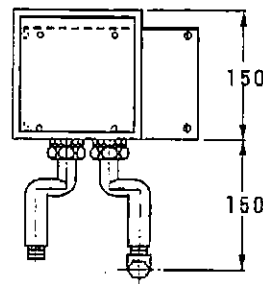
エルボ 15 A
エルボは手前に向け継足ソケットを接続してプラグで塞ぎます。



TEA 99X, TEA 100X



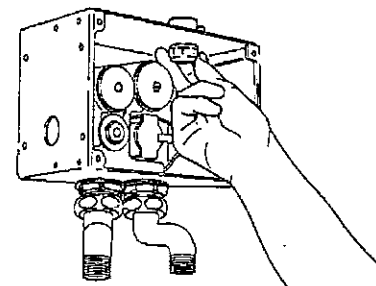
TEA 99LX, TEA 100LX



TEA 150X

③ 電線管コネクタの取付け

電線管コネクタをノックアウト部に取付けます。ノックアウト部はボックス上面に1ヵ所、左右側面に各1ヵ所ありますのでいずれかを抜いて電線管コネクタを接続してください。接続後、養生カバー付取付板をボックスに取付けてください。



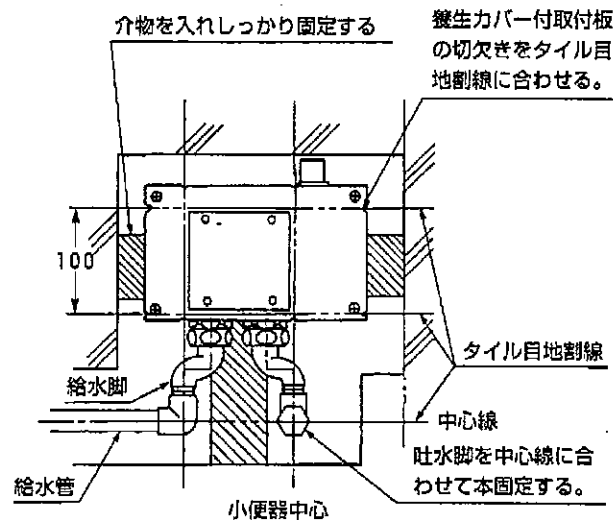
●合成樹脂製可とう電線管(フレキ)接続の場合はφ21.5のノックアウト穴対応のものをご使用ください。

④ ボックスの位置合わせ及び給水管の接続

- ①はつた壁に器具を収め、位置合わせを行います。
このとき、器具が水平になるように介物を入れてしっかり固定してください。
- ②給水管を配管し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流した後、給水脚に接続します。
- ③給水脚を本固定します。

●注意

- 養生カバー付取付板切欠きと目地割線のずれは ±4 mm以内としてください。
ボックスの取付けが狂うと、タイルが張れなくなったり、光電センサーが取付けられなくなったりしますので注意してください。
- 埋戻し前に必ず埋込配管接続部の漏水がないか確認してください。



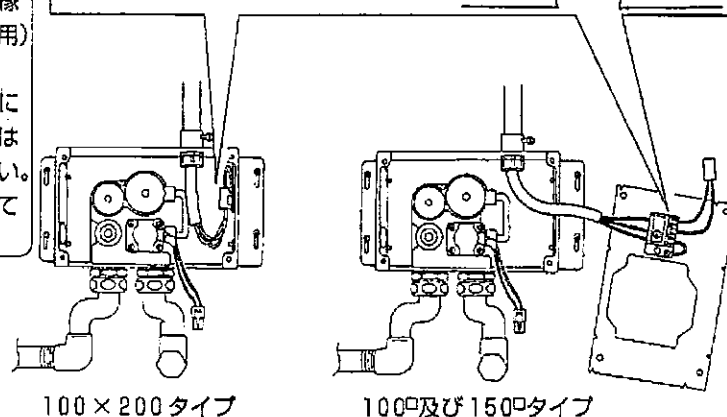
⑤ 電源線・アース線の接続

- ①電線管コネクタ部の壁をはつりねじなし電線管を電線管コネクタに接続します。
- ②養生カバー付取付板を外し、電源線、アース線を電線管に通してボックス内に引込み、端子台にそれぞれの線を接続します。(図参照ください。)

- より線の場合は、松下電工(株)製(WV2502)の絶縁被覆付棒型圧着端子(フル端子用1.25mm²~2mm²用)をお使いください。
- 100×200タイプの場合端子台はボックス右側面に取付けられています。電線の接続がしづらい場合は化粧ねじをゆるめ、端子台を外して行ってください。接続後は化粧ねじをしめ、確実に端子台を固定してください。

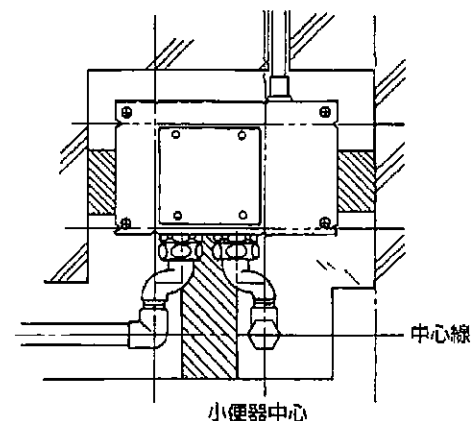
結線方法

- ①器具表面のストリップゲージに合わせて電源線被覆を15mmむいてください。
- ②端子穴に心線をのぞき穴から確認できるまで奥まで確実に差込んでください。



⑥ 下地壁の埋戻し

ボックスの周囲をモルタルで埋戻します。



再生紙を使用しています。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

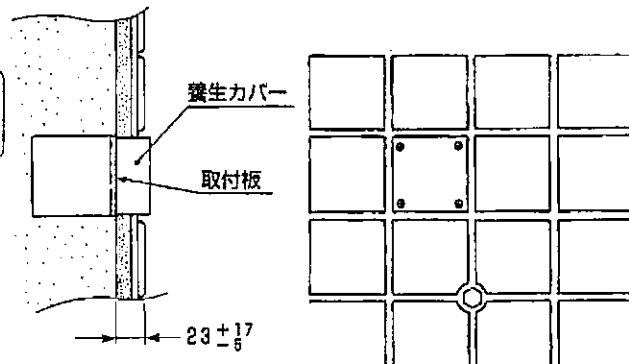
ウラ面につづく →

7 下塗りモルタル施工・タイル張り・目地詰め

- ①下地壁にモルタルを下塗りします。
- ②養生カバーを付けたまま、タイルを張り、養生カバーの周囲を除いて目地詰めします。
タイルの水洗いはこの状態で行ってください。

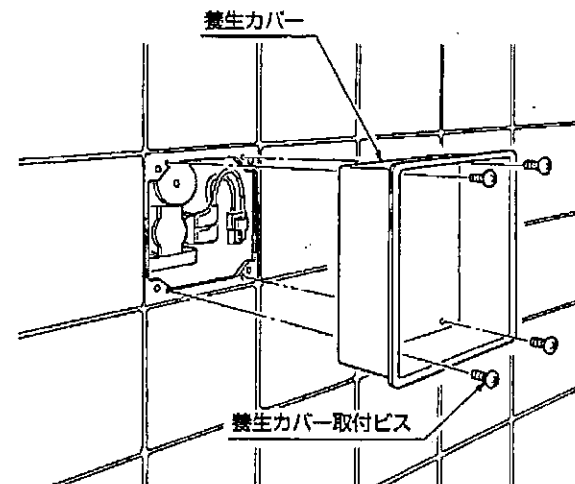
注意

酸洗いは器具を傷めますので行わないでください。



8 養生カバーの取外し

取付けビスを外して、養生カバーを壁面から引抜きます。

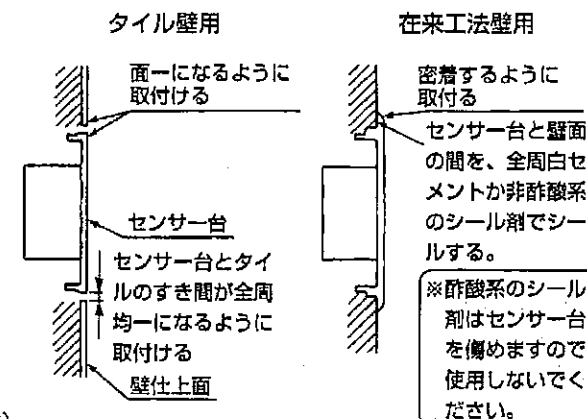
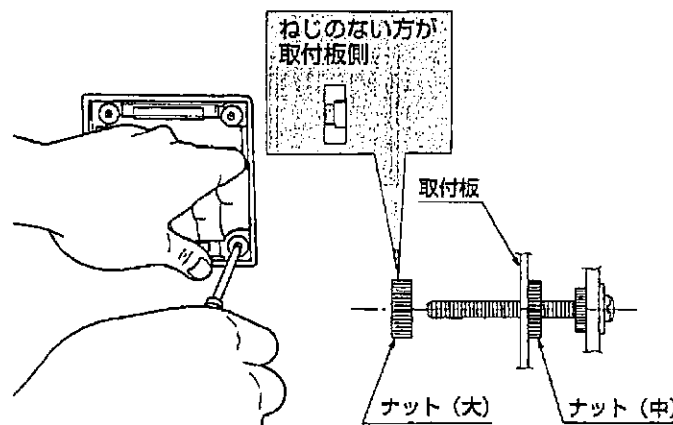
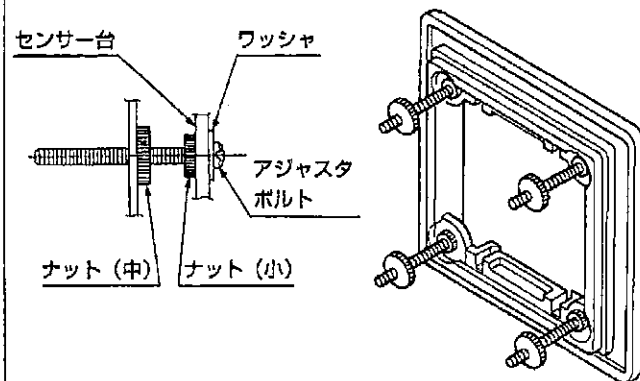


9 センサー台の取付け

- ①センサー台に下図のようにアジャスタボルト（4本）を取付けます。（100×200タイプは6本）
- ②センサー台を開口部にはめます。このときアジャスタボルトが取付板の穴に入るようにしてください。

- ③センサー台の位置を調節した後センサー台とアジャスタボルトを固定します。ナット（小）を指で押えながらアジャスタボルトをドライバー（+）で締付けてください。

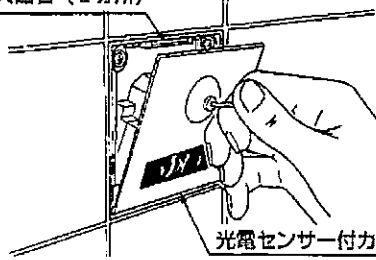
- ④ナット（中）でセンサー台の深さを調節した後、ナット（大）で固定します。



⑨ 光電センサー付カバーを永久磁石の部分に吸着させ四隅を押えて、ガタツキがないことを確認します。ガタツキがある場合は、図のように付属の吸盤を使って光電センサー付カバーを外し、ナット(大)及びナット(中)を調節してください。

調節後は、光電センサー付カバーを外してください。

永久磁石 (2カ所)

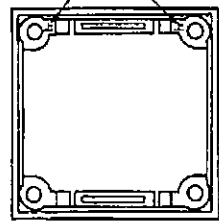


光電センサー付カバー

注意

- センサー台にソリが出ると、光電センサー付カバーがガタついたり、器具を破損したりしますので注意してください。
- センサー台は方向性がありますので、取付けの際は注意してください。

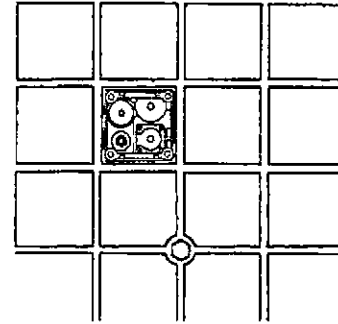
「上」の文字のある方を上向きにして取付けてください。



センサー台

110 目地詰め (タイル壁用のみ)

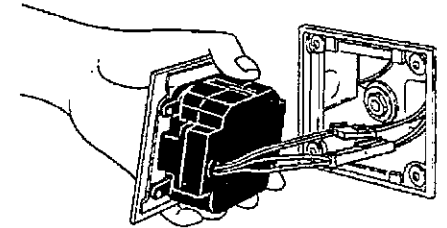
センサー台の周囲を白セメントか非酢酸系のシーリング剤で目地詰めします。酢酸系のシーリング剤は、センサー台を傷めますので使用しないでください。



111 コネクタの接続

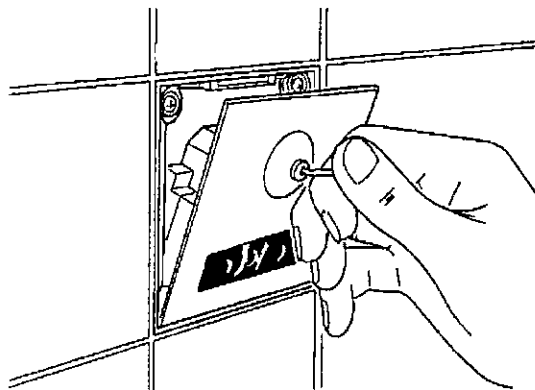
電磁弁コードと光電センサーコードのコネクタを接続します。

- カバーを落すとコネクタのピンが抜ける場合があります。ご注意ください。



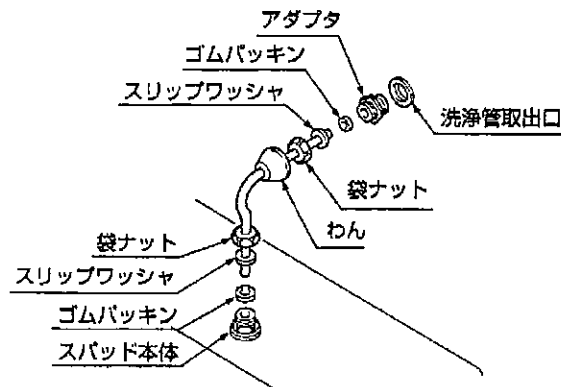
112 光電センサー付カバーの取付け

光電センサー付カバーを図のように永久磁石の部分に吸着させます。



113 洗浄管の取付け

- ① 洗浄管取出口のプラグを外し、アダプタをねじ込みます。
- ② アダプタと小便器スパッド間を洗浄管で接続します。



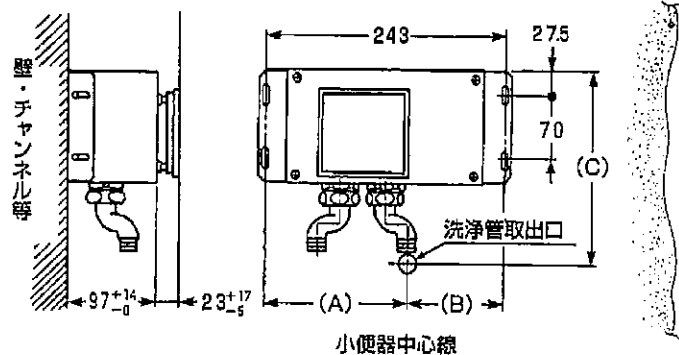
114 取付完了後の確認

配線、配管に間違いがないことを確認後、通水、通電し、通常の使用状態(作動のしくみ参照)で作動するかどうか確認します。

又、各部に漏水のないことを確認します。

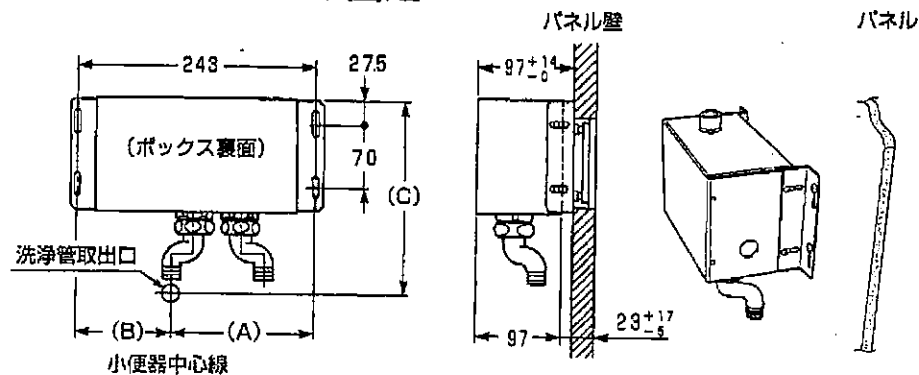
※乾式施工の場合
ボックスの固定

●壁、チャンネルへの固定



	(A)	(B)	(C)
100×100	154	89	220
100×200	104	139	220
150×150	166.5	76.5	285

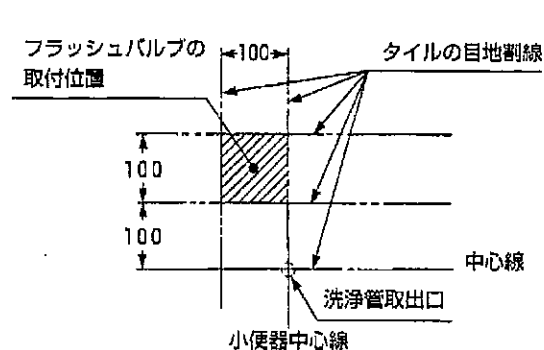
●パネル壁への固定



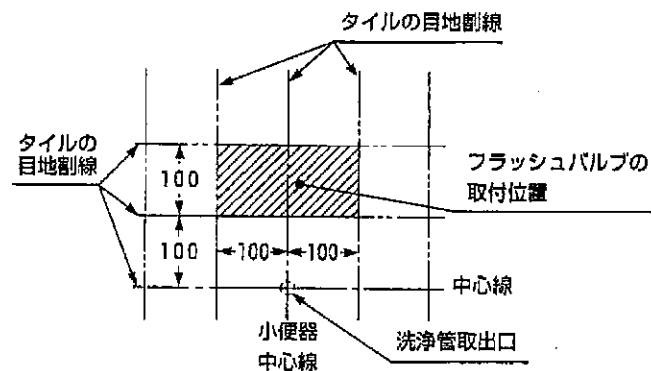
	(A)	(B)	(C)
100×100	154	89	220
100×200	104	139	220
150×150	166.5	76.5	285

パネル壁の穴開け

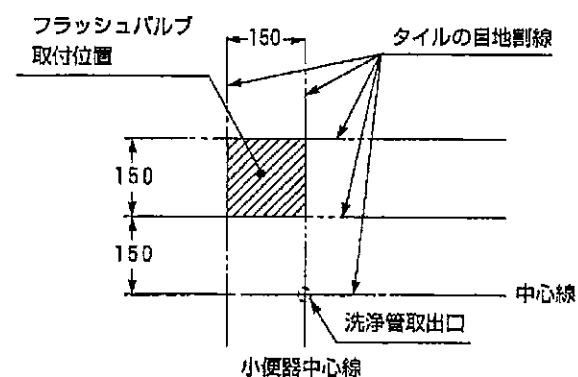
TEA 99 X, TEA 100 X



TEA 99 LX, TEA 100 LX



TEA 150 X



● 感知距離の調節

- 感知距離は工場で調節後(800mm)出荷しておりますので通常の調節は不要です。万一通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁等を感知してしまうときは、次の要領で調節してください。

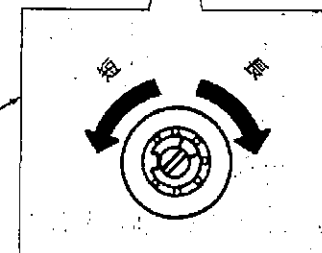
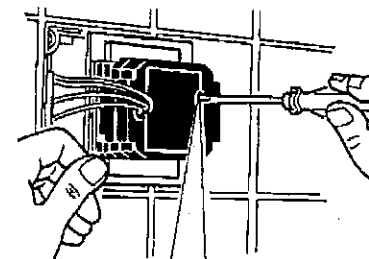
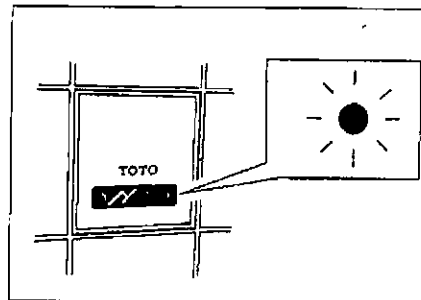
調節方法

- 感知しない場合(感知表示ランプが点灯しない)は感知距離調節ボリュームを「長」の方に回します。
- 感知しっぱなしの場合(感知表示ランプが消灯しない)は感知距離調節ボリュームを「短」の方に回します。

● 注意

- 感知距離調節ボリュームは少しずつ回して調節してください。
- ボリュームには無理な力を加えないでください。
- 感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因となりますので必要最小限にとどめてください。
- 調節の際はカバーを必ず片手で保持してください。光電センサー付カバーを落とすとコネクタのピンが抜ける場合があります。

感知表示ランプ

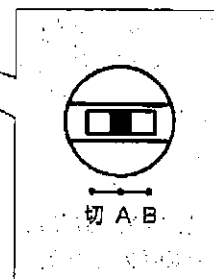
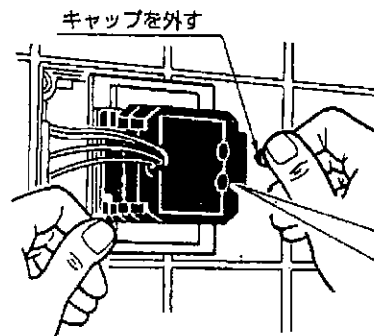


感知距離調節ボリューム

● 前洗浄の設定

- 工場出荷時には「切」の位置に設定しています。前洗浄する場合は「A」又は「B」の位置に設定してください。
- 「A」…感知して2秒後に洗浄します。
- 「B」…感知して5秒後に洗浄します。

※設定の際には精密ドライバー等で無理な力を加えないように行ってください。



● 手動洗浄

- 同梱の洗浄用磁石をセンサー窓に近づけると感知に関係なく小便器を洗浄します。

